

時代の変化が進み、香りに求めるものが多様化しています。  
癒やし、エンパワリング、浄化…  
まとう人自身を輝かせる、インディジブルな魅力をもっと深く知りたい

# 読むフレグランス

大きな時代の波に寄り添うように進化した価値観、多様化するライフスタイル、豊かに経験を重ねて成熟した感性…。さまざまな理由から「今冷心地よく過ごすための新しい香りを求めている人が増えています。そこで、運命の香りとの出会いをぜひ寄せるために——「読む」フレグランスをお届けします！

## 香りの価値観、 アップデートしていますか？

体温に温められて肌の上で目覚めるように香り立ち、まとう人の気分や個性を際立たせるフレグランス。目には見えないけれど、ダイレクトに心に響き、魅力や徳吉に語るアイテムだけに、繊細に向き合ってアップデートしていただきたいものです。そこで、ここ数年のフレグランス事情について中野香織さんにうかがいました。「コトーンフレグランス(繭のよさに包み込まれる香り)」という言葉に感動されるように、他者にアピールするよりもむしろ、自身が心地よく香りに包み込まれることを優先するトレンドが主流です」。さまざまな変化を受け止めるために自分自身を整えてくれる、居心地のいい世界へと誘ってってくれるセルフリトリートメントする役割が求められているようです。香りにより親密に付き合いたい気分から、肌を直接つけて、香りに包まれたまま眠りにつく「スキンセント」への関心が高まっていることも興味深いこと、と中野さんは指摘します。素肌の延長線上にあるような親密な安心感を与えうる香りやまとうものも、近年のライフスタイルならではの特徴のひとつといえるでしょう。「自分をいつくしむ」と、自分を愛すること他者への余裕も生まれるといったような、スピリチュアルの言説の流行とも連動しているように見えます。「自分と向き合う多くの時間を経て始まった新しい日常、そのなかで自分らしくあるための香りが、これまでと違って不思議なことではありません。だから今、香りのアップデートを楽しみませんか？

お話を伺ったのは—  
製菓作家・作家  
中野香織さん

専ら「よ」香りからインスピレーションまで、多種多様なフレグランスライフを営む。「新しい時代にはそれによわしい新しい香気があるのだ、さらにそれらと日々の生活をつなげていきます。安心感や癒やしに思い至る香気が増えていくのは嬉しいことですね」と、香りのアップデートも自分ごとで。

講師：石塚博生(人物)、小畑洋行(CAOL)、講師：エタキウエス / 小畑洋行、ヘアメイクアップ(石塚博生) / エタキウエス、大塚博幸 / シイアクト、加藤聖子 / 編集：岡本由子、五十嵐洋子(表記)  
編集協力：日本フレグランス協会、ブルーホール・ジョーシ、KODAKU、5140P、香学文化、「日常」の科学(平山和博(講師))、  
「お香りをかき分けたい」の香りをもっと知りたい—編集委員の生活習慣のススメ(大野香織)「ワニブックス」